



Vol. 02
2021

鈴木設計ニューズレター

Suzuki Architectural Design Office

「鈴木建築設計事務所と私」

前所長 武田 弘

鈴木建築設計事務所は早いもので昭和三十一年設立、昭和四十四年法人組織され今年で創立五十三年を迎えました。

私は創立の年に入社し、今日に至っております。その間、常務、所長、顧問の役職を務めました。私の所長時代を振り返ると、初代所長が逝去（平成八年）された後、現藤原社長と一緒に引き継いでおります。

開設者、管理建築士が共通の理念で経営にあたりると共に顧客への紹介と挨拶回り実施し、強い意志で建築基準他法律の指導、打ち合わせの遵守、その他建築基準法外書類を整備しています。建築士の業務としては法的、社会的条件、技術力確保に所員全体で効果を発揮できる体制、設計理念として「顧客第一」をモットーに、皆様方のニーズにこたえることが使命と考えます。

事務所全体が明るく、意見、相談を気軽に提案の体制、社会福祉や文教施設などが数多くの実績があり、特に構造設計部門は特に充実したスタッフ、技術、ネットワークと経験を持っております。業務の相談についてお気軽

にご連絡、ご相談をお待ちしています。



前所長 武田 弘

川西町役場

基本計画・基本設計・実施設計

川西町

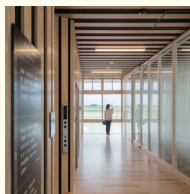
置賜盆地の宿場町として交通の要所を支えた川西町において、2017年に設計を開始してから4年の歳月を経て、2021年5月に開庁を迎えました。

田園風景と調和した柔らかな外観デザインにより、親しみやすい役場を目指しました。冬期間の非常に強い西風を受け流す勾配屋根や、雨雪から歩行者を守る大庇を設け、利用しやすく、愛着が感じられる役場としました。内装においても置賜産材の木材を要所に用い、温かみのある空間としました。

風解析による積雪シミュレーションや定点カメラによる現状観測を行い、地域に根差した計画としました。様々な困難をデザインによって乗り越えることを目標に、今後も新しい挑戦を行っていきます。



田園風景と調和した外観デザイン



木材を要所に用いた温かみのある内観デザイン（左から窓口、ホール、議場）

シンボルとなる新しいロゴ

社内コンペのワークショップで新しくロゴを決定しました。ロゴのテーマを「未来に向かってたゆまぬ革新と伝承」「地域社会を守る設計集団」として、各々が思うこれからの事務所を想像したデザインを持ち寄り、議論しながら決めました。最終案は、鈴木をカタカナにして親しみやすいデザインに再構築したもので「スズ」を家形として建物の連なりを表現し、「キ」は豊かな山形の木材を表現しています。積極的に山形の資源を活用し、地元の企業と連携し「新しい山形の景観」をこれからも創造していかせたいと願っています。



新しくデザインされた封筒と名刺



商標登録証



ワークショップの様子